

令和4年 第1予算審査特別委員会討論要旨

◎会派清新

会派清新を代表し、第1予算審査特別委員会に付託されました議案第1号、令和4年度滝川市一般会計予算並びに関連議案を可とする立場で討論いたします。

令和4年度においても、長期にわたる厳しい財政状況と新型コロナウイルス感染症による経済環境の悪化が続く中で新年度予算編成をされました理事者・職員の皆様のご努力に心より敬意を表します。

以下、若干の意見を付して賛成討論といたします。

歳入につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、市税において、先の見えない状況が続くところですが、ここ数年着実にふるさと納税が増えてきております。首都圏を中心にさらなるPR活動と市内業者と連携をとり、新たな商品開発に取り組み、返礼品の充実を図り、歳入の確保に努められたい。

歳出につきましては、市民が安心し、生きがいを持って活動できるまちづくりを進めていただきたい。新型コロナウイルス感染症対策や滝川市民交流プラザなど充実した内容となるようお願いいたします。また、教育分野においては、GIGAスクール構想の充実した活用とグローバル化していく国際社会に対応できる人材育成のため、語学指導の充実に努められたい。

先の見えないコロナ感染、地域経済ではありますが、市民の安全・安心を最優先とした予算執行となるよう希望し、賛成討論といたします。

◎新政会

新政会を代表し、第1予算審査特別委員会に付託されました、議案第1号 令和4年度滝川市一般会計予算並びに関連議案を可とする立場で討論いたします。

新型コロナウイルス感染症による厳しい経済状況と市民の不安そして人口減少や少子高齢化など大変困難な環境下で、市民サービスの維持向上に向け、効果的な予算編成に全力を尽くされた理事者並びに職員の皆様に心から敬意を表します。

いまだ終息を見ない新型コロナウイルス感染症は、予算執行において迅速かつ的確な対応が求められると思います。年度内においても新型コロナ対策や経済対策など国の施策には敏感に対応されることを求めます。

第2期財政健全化計画においては、さらなる支出削減は大変困難なものと認識しておりますが、市立病院の安定経営と、好調を維持しているふるさと納税についての成果に期待をしております。

策定を進めている滝川市総合計画、滝川市公共施設個別計画、立地適正化計画は人口減少が進む本市にとって、大変重要な市政運営の道しるべであります。住みつづけたいまちづくりに向けて、知恵を結集したこだわりのある計画づくりを望みます。

以上、職員一丸となったさらなる取り組みを求め賛成討論といたします。

◎会派みどり

会派みどりを代表して、第1予算審査特別委員会に付託されました議案第1号令和4年度滝川市一般会計予算及び関連議案第13号、第16号、第18号から21号までに対して、可とする立場で要望、意見を付して討論いたします。

令和4年度滝川市一般会計予算は、新型コロナウイルス感染症の影響により先の見えない社会情勢の下、不透明な財政状況の中、財政調整基金の繰り入れを行わずに、バランスのとれた予算を編成した理事者に対し、敬意を表します。

(歳入)

ふるさと納税を推進するために、引き続き首都圏でのPR活動はもちろん、あらゆる滝川関係者及び団体・企業にも細かくPRを実施されたい。市内事業者の魅力的な返礼品開発にもより一層の協力をしていただきたいと思います。

(歳出)

<総務費>

滝川市立病院経営改善計画に沿って、入院患者増加対策を確実に実行するよう努力していただきたい。

<民生費>

高齢者、障がい者に対するきめ細やかな施策を引き続き丁寧を実施するよう求めます。全ての事業に事前PRとアフターフォローを大切にして住みよいまち滝川を目指して欲しい。

<農林業費>

滝川の基幹産業である農業に対し、その存続を図るため、新規就農、後継者育成などに力を注いでいただきたい。

<土木費>

全国の道路陥没事故を他山の石として、市内の道路・橋梁・河川の監視及び維持補修にはきめ細かい対応で市民生活の安心・安全の向上を期待する。

<教育費>

市民交流プラザの開設、運営について、利用者の声を都度反映し、地域文化の衰退がないようあらゆるところで積極的に活動を支援していただきたい。

◎公明党

公明党を代表し、令和4年度第1予算審査特別委員会に付託されました議案第1号と関連議案に対し、賛成の立場で討論いたします。

いまだ、新型コロナウイルスの感染収束の兆しが見えない中、ウイズコロナ、アフターコロナを見据え、新年度予算を編成されました理事者・職員の皆様に敬意を表します。

新年度は、新滝川市総合計画が策定され、この計画に沿った様々な計画も策定される予定です。その中でも、滝川市公共施設個別施設計画は、今後のコンパクトシティのまちづくりと財政負担の縮

減に向けて非常に重要な計画となります。

この計画では、市民意見を反映する一方で、将来的に廃止せざるを得ない施設については、大鉈をふるってでも市民理解を求めるような計画にしていきたいと思います。このことは、我々議会議員としても、説明責任をしっかりと果たしてまいります。

最後に、新年度のこれらの計画が本市の将来を決定づけるとの思いで策定されることを願い賛成討論いたします。

◎共産党

第1 予算審査特別委員会に付託された議案第1 号滝川市一般会計予算及び関連議案の全てを可とする立場で討論を行います。

はじめに、新年度予算を財政調整基金の繰り入れを行わずに編成するに至ったことは特筆すべきことです。第2 期財政健全化計画を一丸となって進めた職員・理事者の皆様に敬意を表します。

しかし、コロナ禍で依然として厳しい経済状況にあり、年金生活者、非正規雇用労働者の暮らしにゆとりなどありません。市民の暮らしを守るために財政調整基金を取り崩す英断も必要です。市民の暮らし第一に、今後も取り組みを進めていただきたい。

以下、若干の意見を付します。

第1 に、新年度も滝川西高等学校体育館改修工事をはじめ多くの学校施設の改修工事が行われます。学校施設は子どもたちが日中の大半の時間を過ごす場所です。安全・安心に過ごせるよう学校施設を優先した公共施設個別施設計画を策定されたい。

第2 に、市立病院の経営改善計画実施支援業務委託の継続について。

本市を含め多くの公立・公的病院は経営の安定化に苦労しています。安定的に黒字化することは容易ではありません。ましてやコロナ禍です。しかし、それを何とかするための業務委託だったはずです。市民に成果の見えない業務委託は、事務事業の見直し対象と心得えることが、市民の信頼に応えることになります。

第3 に、生活保護に関して。

2015 年に生活保護に関する実施要領が改正され、除排雪を第三者に有償で依頼する場合、福祉事務所に申請すれば 32,000 円まで支給されることになりました。本市での申請実績はないということですが、豪雪地の本市において申請実績のないこと自体が問題です。生活保護利用者の中には、高齢者や病気・障がい等のある方がいます。生活保護利用のしおりに記載があっても気付かないかもしれません。利用できそうな制度を紹介し、利用するか否かの意思を確認するのが、権利としての生活保護に対応する行政の務めではないでしょうか。

第4 に、教育費の学校給食費に関して。

給食調理の委託化により子どもたちへの安定した給食の提供が確保され課題のひとつが解決されたように思います。次は、長年の課題である給食費の無償化・軽減措置に向けて取り組んでいただきたい。

以上、討論とします。